

《プログラム》

■一般演題(口演発表)

教室5-201(講義棟2階) 09:45 - 10:45

O1 母子保健・その他

座長: 垣本 和宏 (大阪府立大学人文科学系)

O1-1	フィリピン・マニラにおける台風マリオに対する食糧・日用品調達に関する実態調査	神原 咲子
O1-2	ケニア西部における出産費用の経済対処行動に影響を与える要因に関する研究	鈴木 裕子
O1-3	出生時体重と母親の産後BMIの関連ーベナン国アボメカラビコミュニティにおける母子保健調査からー	中田 とも子
O1-4	バングラデシュ農村部における妊産婦コミュニティグループ活動を促進する要因～JICA母性保護サービス強化プロジェクトフェーズ2の事例から	井上 由美子
O1-5	タンザニアの母子保健サービスにおける父親の役割	小松 法子
O1-6	カンボジアにおける妊産婦死亡率減少に関する一考察	明石 秀親

教室5-202(講義棟2階) 09:45 - 10:45

O2 生活習慣病・栄養・水

座長: 中野 貴司 (川崎医科大学小児科学教室)

O2-1	パラオ在住のパラオ人およびフィリピン人における生活習慣病危険因子の保有率の相違	伊東 歌菜
O2-2	ザンビア共和国農村部住民における非感染性疾患に関連するリスク認知・行動および社会文化的要因に関する質的研究	立山 由紀子
O2-3	東アジアの寒冷高地における身体適応と生活習慣病	市川 智生
O2-4	言語や文化の異なる患者における食文化の重要性 ～大学病院スタッフに対する質問紙調査より～	小笠原 理恵
O2-5	ソロモン諸島首都在住女性に対する栄養教育の可能性:CVMによる検討	清水 彩加
O2-6	ネパール カスキ郡デタール村におけるプライマリヘルスケアに基づいた住民参加型の生活改善活動～安全な水の供給推進を中心に3年間の活動報告～	上野 理恵

教室5-201(講義棟2階) 10:55 - 11:55

O3 HIV・感染症

座長: 北島 勉 (杏林大学総合政策学部国際協力研究科)

O3-1	Are patients receiving antiretroviral therapy at health centers satisfied with the services? A cross-sectional study in northern Thailand	北島 勉
O3-2	ケニア共和国ビタ地区におけるHIV陽性女性とHIV陰性女性の家族計画実施の比較検討に関する研究	荒井 紗也香
O3-3	ネパール国パタン医科大学における感染症基礎研究の基盤構築と病原体サーベイランスの将来的展望	和田 崇之
O3-4	ラオス農村部における住民の飲料水の取り扱いとE.coli及びColiform汚染との関連	土屋 良美
O3-5	BCGワクチン接種副反応事例とイムノプラダーによる膀胱がん治療後のBCG感染事例におけるBCGTokyo 172株の遺伝子変異	吉田 志緒美
O3-6	岡山県における渡航者医療の現状と課題	田中 孝明

教室5-202(講義棟2階) 10:55 - 11:55

O4 国際保健・システム・人材育成

座長: 谷村 晋 (兵庫医科大学公衆衛生学講座)

O4-1	ベナンにおける学校保健介入のマルチエージェントシミュレーション評価	谷村 晋
O4-2	国際保健領域における官民連携事例のシステムティックレビュー	白山 芳久
O4-3	ブラジル・南パンタナール地域における地域病院設立のための多角的なアプローチ	森部 玲子
O4-4	実践的な国際看護の教育内容に関する研究	山本 あゆみ
O4-5	佐賀県におけるインドネシア人看護師候補生に対する大学と地域の病院との連携の報告	田中 沙恵
O4-6	The Impact of Active Learning on Students' Academic Achievement in an Undergraduate Para-medical Course in Japan	高柳 妙子

■一般演題(示説発表)

ラウンジ(江角記念ホール1階) 09:45 - 10:45

P1 栄養・NCD・国際保健・システム・人材育成

座長: 菅沼 成文 (高知大学医学部環境医学)、坂本 真理子 (愛知医科大学看護学部)

P1-1	ラオス国における栄養分野の調査研究およびNCDサーベイランスのデータベース構築に向けて	三好 美紀
P1-2	コンゴにおける伝統薬の使用と閉経期の女性の高血圧前症との関連について:横断研究	Muchanga Sifa Marie Joelle
P1-3	ケニア・クワレ郡におけるトウモロコシ粉に含まれるアフラトキシン濃度とその増加要因	松末 昌士
P1-4	大学院生のための米国の保健医療施設におけるAdvanced Nurse Practiceシャドーイングプログラムの試み	吉野 八重
P1-5	JICA研修員受入事業「病院経営・財務管理」研修コースの評価	杉本 孝生
P1-6	国際協力において理学療法士がより多くの社会福祉の現場を経験する意義についての一考察—スリランカ国での経験をもとに—	飛永 浩一朗
P1-7	ベトナムから学んだ国際看護のあり方	森 千郷
P1-8	香港における外国人家事労働者の生活について—vulnerability とresilience の視点から	中屋 朝子
P1-9	アメリカにおける薬学研修報告	大光 正男

ラウンジ(江角記念ホール1階) 10:55 - 11:55

P2 母子保健・学校保健・感染症

座長: 吉武 毅人 (第一薬科大学社会薬学教室)、山本 秀樹 (帝京大学公衆衛生学研究科)

P2-1	カンボジアにおける分娩期ケアに対する女性の認識	野口 眞貴子
P2-2	エチオピア北部ティグライ州都市部における安全な中絶サービスの提供と利用に向けた医療課題—女性の中絶ケア希求行動の検討を中心として—	柳瀬 奈保
P2-3	ケニア共和国沿岸部における伝統的産婆(TBA)によるお産に関する慣習的行動	福田 昭子
P2-4	ガーナ共和国の学校保健教育プログラムとその課題	吉藤 康太
P2-5	カンボジア国首都プノンペンにおける小学生の生活習慣と肥満との関連について	池根 奈菜子
P2-6	バングラデシュ都市スラムにおける病気の子どもの持つ母親の治療希求行動に影響する要因	井上 由美子
P2-7	ガーナ共和国イースタン州におけるHIV陽性女性の産後のHIVケアに影響を与える要因について—当事者の視点から—	波多野 愛子
P2-8	フィリピン共和国 ビラン州農村部における小児肺炎のケア希求に関する研究	高原 美貴
P2-9	北部ベトナムナムディン省における農村部住民の下痢原性原虫感染状況と感染に影響を与える要因	菅本 鉄広

■シンポジウム

江角記念ホール 2階江角講堂 14:20 - 15:50

途上国の食の変遷と疾病

A Transition of Traditional Food Culture to Globalization causing Nutritional Disorders in Developing Countries

座長: 嶽崎俊郎 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 国際島嶼医療学講座)

Kongsap Akkabong (Institute of Public Health, Lao PDR)

ラオスの子供たちの栄養と教育

Maternal, Infant and Young Child Feeding & Nutrition in Lao PDR.

Dr Somchit Akkhavong (JADDO, Lao PDR)

*Former Deputy Director of Dept. Hygiene & Health Promotion, MOH, Lao PDR

マラウイでの栄養改善活動

Present Situation and Problems of Food Culture in Malawi

浦部大策 (聖マリア病院 国際事業部)

NCDをいかに安い費用で発見、治療できるだろうか

Cost-Effective Screening of Lifestyle-Related Illness in Developing Countries

帖佐 理子 (認定NPO法人じゃっど、若松記念病院)

■市民公開講座

江角記念ホール 2階江角講堂 16:00 - 18:00

講義1

ルワンダの子供たちの教育と栄養

永遠瑠(トワリ) マリールイズ (NPO法人ルワンダの教育を考える会 理事長)

座長: 吉田 いつこ (天理医療大学看護学科)

講義2

納豆の起源: 途上国の環境と食

横山 智 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

座長: 小幡 順子 (認定NPO法人じゃっど)

■西日本地方会ユースフォーラム 2015

教室5-201(講義棟2階) 12:00 - 13:45

○テーマ 四川省大地震から学ぶ心のケア～活かせ九州の未来へ～

○講師 田中 英三郎 先生 (兵庫こころのケアセンター 主任研究員)

○プログラム

11:30-12:00 開場

12:00-13:20 開会・講義・ワークショップ

13:20-13:40 まとめ・質疑応答

13:40-13:45 閉会

■NGO/NPO, 企業等団体の活動紹介コーナー

■アトラクション